

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314



## 立教百八十四年 明けましておめでとーございます

昨年は三年千日と仕切つての歩みの二年目として、一年目の「初席者一名以上」と「百万件にいがけ」に加え「おさづけを身近に」を実践項目として掲げ、成人の歩みを進めさせて頂きました。ところが部内巡教を終えさあこれからという矢先、コロナ禍により非常事態宣言が发出され、何もかもが自粛を余儀なくされて、にをいがけもおたすけも思うよう出来なくなりました。一時期は収束を見たかのように思いましたが、その後益々感染が広がり医療が追いつかなくなる手前までになりました。その中出来る精一杯の成人の歩みを進めて下さり、誠にご苦労様でした。

いよいよ三年目、仕上げの年であります。コロナ禍は続いており、安心出来るのはまだ先になりそうですが、コロナを通しての親神様の思召を思索すると、成人の歩みを更に早めて行かなければなり

ません。まさしく「たすけの輪を広げよう」なのです。その為には一人ひとりがかかりとおちばに繋がり、我がのたすけでは無く「親」のたすけを広げる必要があります。その為に仕上げとして「教会に参拝しよう」と「心を込めておつとめをしましょう」を実践項目として掲げました。一人ひとりがかかりとおちばに繋がり理を戴いて、その理を他の人に繋いでいきましよう。只、自分だけでしたら良いのではなく、ひとりでも多くの人に声掛けをして共に実践をしましょう。そうすれば「百万件にいがけ」「初席者一名以上」「おさづけを身近に」も自然と出来てくるでしょう。

「みなそろてはやくつとめをするならばそばがいさめバ神もいさむる」さあ勇んで仕上げに掛かりましよう。

笠岡大教会長

上原理一



**立教183年 年末大掃除**



各所に脚立・長梯子・ビデを立てて作業を行なった



今回から高所作業者はヘルメットを着用



子連れの方、年輩の方も、それぞれ適所に

12月22日、管理部(虫明立生部長)は毎年恒例の大教会年末大掃除を行い、大教会長様ご夫妻をはじめ役員・婦人会・青年会・信者ら約50人が参加した。また愛美様も今年笠岡に嫁いで来られて始めての大掃除に参加された。

例年と同じく午前8時半からプレハブ倉庫から資材(アンチ・ブレス・脚立・シートなど)を神殿に運搬、搬入、組み立てと有志数名で段取りを行い、午前9時になって参加者たちは神殿に集り、食事に於いても休憩時の茶菓子、また昼食の準備にと忙しく働いて下さった。ほとんどの参加者は食事後にそれぞれに解散したが、神殿横の残りの窓拭きを食後すぐ数名の有志で行い、午後1時過ぎに居合わせていた人たちで大教会長様と共に三殿を礼拝させて頂き、立教183年の年末大掃除が無事終了した。

年の瀬のお忙しい中を誠にありがとうございました。

**陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう**

今一手一つに、一步一步!

- \* 一教会、初席者一名以上
- \* おさづけを身近に
- \* 百万件のにをいかけ

一人ひとりの信仰生活の充実 ~プラスαを目指して~

- \* 教会に参拝し、おぢばの理を戴こう
- \* 心を込めておつとめをしよう

**創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭**

立教184年(2021年)10月24日 執行





### 三ヶ月の修養生活を

終えて

照陽分教会 剣持秀子

新型コロナウイルス感染で心配でしたが、嫁に行った娘の身上を通してもつと成人しなさいと、この時期に教祖が早く帰っておいでとおぢばに引き寄せて下さったんだと思わせて頂きました。

私は修養科2度目です。1度目は結婚する前に母の勧めで来させてもらいました。この度の修養科は白紙に戻し、いちからの勉強です。

詰所では、すてきな女性のめぐり合わせでもう一人、娘ができました。びっくりしたのは生まれた年は違いますが誕生日は同じです。当日、教室にてクラスの副担任の先生やみんながバースデイの歌を歌って祝ってくれました。うれしくて涙でした。

だいぶ前になりますが、だんだんといつの間にかおつとめをしなくなつて

いました。「八つのほこり」の教理で、気付かないうちにほこりを積んでいたこと、親神様をほうきとして反省し、ほこりを払い、おつとめの大切さを再度、気付きました。旦那さんと心を合わせ真剣におつとめを続けます。まずは三日。三日から一週間。一週間からずーと。

朝と夕方の神殿掃除で教祖殿ろうかの結界のところを掃除させて頂きました。

私のこれからの人生、詰所や修養科で学んだことは忘れないと思います。

大教会長様・奥様・皆さまには心配をおかけしました。これからもご指導くださいませ。詰所の皆様・教養掛の先生方、大変お世話になりました。ありがとうございます。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



### 教祖の存在

照陽分教会 岡陽子

私が3カ月間修養科生として過ごし感じた事は、題名と同じように教祖の存在です。

修養科に入るきっかけとなったのは、自分の身上でした。最初はなぜ自分がこんな辛い思いをして生きなければならぬのかと生きる事の意味を失っていました。

その時、私の看病をしてくれた母におぢばに帰ろう！心の勉強をさせてもらおう!!という一言で私は救われたのです。

不安と疑いの気持ちで来ましたが、今は本来にきて良かったなと思っております。

それはなぜかという点、自分の身上を通して教祖の教えを学べ、心の視野が広がり、助けてもらうありがたさ、そしてなにより教祖の存在を感じた事です。

生きるという事は簡単のようで難しいですが、生きる意味を知れた修養科生生活だったなと実感しております。

### 三ヶ月で得たもの

福芦分教会 波多桜

3ヶ月を通して毎日得るものがありました。自分自身と向き合う三ヶ月でした。修養科がはじまる前の私は人のために、人を助けたい。と思い志願させて頂きました。修養科がはじまってみると心が優れず助けられてばかりでした。修養科を過ごす中、人が怖い、自分が分からないなどの味わったこのとのない気持ちへなりました。そんな中も、クラスの仲間や詰所の方が支えてくれました。

私は今回2度目の修養科を志願させて頂き12月2日、念願だったおさづけの理を拝戴させて頂きました。人を助けられることの喜びと同時に責任というものを感じました。助けられたいでは助からない。修養科中よく聞いたことです。人を助けたい。という心を受け取って下さって知らない内に助けられていたということを教えて頂きました。

修養科終了後、病む人に自ら進んでおさづけを取り次ぎ素敵な用木になれるよう成人していきたいと思えます。

## 十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の親心一杯のご守護とご導きを頂いて日々は結構に恙なく生活させて頂く中に気がつけば今年も早十二月であと十日を残すのみとなりました 改めて今年一年を振り返ってみますと 創立百三十周年記念祭に向け仕切つて二年目の年として 一年目より勇んで成人の歩み出しをさせて頂きました 直轄巡教 部内巡教も終えさあこれから本格始動という矢先 新型コロナウイルスの感染拡大が始まり緊急事態宣言が発令され 外出もままならなくなり 思うようにをいがけ おたすけが出来ないばかりか おちば帰りも出来難いという事態になりました コロナ禍は一旦終息に向かいましたがそのあと第二波第三波と次第に感染が広がり 今も続いています その中「たすけの輪を広げよう」との思いを絶やす事無く 出来る精一杯のおたすけに励ませて頂いておりますが 心ばかりが空回りして実数に結びついていない事は誠に申し訳ない次第でございます

その中今日の吉日は 本年納めの月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同なお一層の喜び感謝の心も一人に 明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には 季節柄の寒さ忙しさも厭わず寄り集い 日頃のご高恩に改めて御礼申し上げますと共に コロナ禍が一日も早く終息する事を切に願う皆の真実の状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さてコロナウイルスに対する抗ワクチンが急ピッチで開発され海外では認可と共に接種が始まりました 日本にも来年二月頃に入ってきて認可され接種が始まると報道されていますが 効果が判り安心出来るのはもう少し先になりそうです それにしてもお道の者として この世界中の大節をいかにして生き節にするかを思案しなければならぬと思えます 「よくにきりないどろみづや こゝろすみきれぐらくや」とお教え頂きますように 自らが心を澄み切る努力をすると共に 一人でも多くの人の心を澄み切る事の出来るにをいがけ おたすけに励ませて頂きたいと存じます 又年明け早々に直轄教会へ大祭参拝をさせて頂き 仕上げの年の成人の歩みについて徹底を図ると共に「たすけの輪を広げる」為に「育て」を意識して 共に成人の歩みを進めさせて頂く所存でございます

何卒親神様には コロナを通して成人をお促し下さる親心にお応えすべく たすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいます なお一層の自由のご守護とコロナ禍の一日も早い終息が出来るようお導き下さいまして 心温まる明るい年末年始となりますようお連れ通りの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

### 《別席受付時間の変更について》

本年1月2日から、本部祭典日の別席受付時間および祭典日以外のお誓い受付時間に変更になりました。変更後の受付時間は以下の通りです。

#### ◎祭典日の別席受付時間

・月次祭	13:00	～	14:00	
・春季大祭	8:00	～	9:30	(従来通り)
・教祖誕生祭	14:00	～	15:00	
・秋季大祭	12:00	～	13:00	

#### ◎祭典日以外のお誓い受付時間

8:00 ～ 15:00 (祭典日は別席受付時間に準ずる)

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	おつとめ				てをどり			地方	役割	区分	講話	祭主		扨者
									大	上	上	上	大	上	上					上	佐藤	
武内正美	今川佐智子	上原順子	門脇元教	吉岡壽	杉原博之	高木昭祥	中村剛	今川昌彦	田中ますみ	上原愛美	大教会奥様	上原繁道	上原明勇	大教会長様	上原繁次	中島誠治	佐藤道孝	吉岡壽	横山逸郎	中島誠治	大教会長様	
門脇加津	谷内美知子	内海安子	内海史郎	杉原善朗	岡田誠	渡邊隆夫	赤木素志	佐藤真孝	岡崎和美	室崎悦子	岡崎豊生	虫崎真一	岡崎真一郎	上原志郎	三代温生	横山逸郎	田中隆之	二月講話	指図方	賛者	山田敏教	
吉岡八恵	笹尾孝子	高木真孝	佐藤真孝	高木昭祥	吉岡誠一郎	杉原博之	今川昌彦	上原繁次	田中つかさ	山野なつ	横山小智	森本忠善	上原明浩	上原明勇	山田敏教	三島敏	谷内伸自	山野弘実	上原繁道	杉原善朗	山田敏教	

立教百八十三年十二月月次祭 祭典役割表



外出を控える  
今だからこそ

## “暮らしの場”で教えに親しもう

机の上や台所、部屋の中をキレイにすれば、勉強や料理、仕事がかどります。  
同じように、心の「ほこり」を常に払って積もらないように心がければ、気分もスッキリして、家族と楽しく過ごせます。  
外出を控える今だからこそ、「暮らしの場」で教えに親しみ、個人でもできる信仰実践に取り組みましょう。



**聴**いて味わう

**動画「天理の教えチャンネル」**  
わかりやすい基本教理をはじめ、発達障害・依存症・不登校など、おたすけの現場で生きるお話。お道の教えを知らない方にもお勧めください。(各話約10分)

**動画「千遍」**  
「かしまの・かりもの」のひとつを月曜から土曜の毎朝配信。気持ちの良いスタートをきりましょう。(各話約5分)

**ラジオ「天理教の時間」**  
教えに基づいた“家族円満”のヒントをお届けしています。毎週土日の早朝、全国35局でラジオ番組を放送中。ネットで聴取できます。(各話約10分)

**朗読動画「朝の信仰読本」**  
ラジオで放送した『朝の信仰読本—こころ澄ます教話集—』(中山慶純著)を親里の風景とともにお楽しみください。(全23話・各話約5分)

**朗読動画「神様からの宿題」**  
ラジオで放送した『神様からの宿題』(宮崎伸一郎著)を親里の風景とともにお楽しみください。Youtubeチャンネル (各話約5分)



**視**て感じる

**動画「みんなの少年会」**  
少年会がYoutubeに設置した「みちのこチャンネル」。教えの紙芝居やダンスなど、教えを学びながら、楽しめるコンテンツを配信。

**動画「ようぼくびーす」**  
陽気ぐらしに向かって歩む、ようぼくのちいさなチカラの一つひとつをパズルのピースに例えて、それぞれの居場所で活動する教友の姿を紹介します。

**写真ギャラリー「おやさと百景」**  
季節ごとの親里のさまざまな風景が楽しめます。(毎月10シーン)

**動画「おやさと百景」**  
季節ごとの親里の情景や行事などが楽しめます。各回約1分。

**天理参考館WEB展示室「スポーツの歴史と文化」**  
創立90周年特別展を、参考館学芸員の解説とともに、数回に分けてWEB展示室としてお送りします。



**読**んで深める

**「時報から拾い読み」**  
天理時報から、テーマに合わせた記事やコラムをピックアップ。今回は「コロナウイルス感染症」に関するものを集めました。

**「試し読み&無料公開」**  
試し読みができる書籍を紹介しています。一部の書籍は全ページを無料公開！目印は「ALL PAGE」。ぜひご覧ください。随時更新予定です。

**あなたが陽気に、世界を陽気に。「JOYOUS LIFE」**  
「陽気ぐらし」の手がかりとなる記事を厳選した、キュレーションサイトです。

**学生ウェブサイト「Happist」**  
学生向けに情報を発信中。「教理コーナー」「信仰エッセー」は人気です。

# 大教会だより

## ◎第九五二期修養料

自 立教183年10月1日  
至 立教183年12月27日

**\*教養掛**(㊦主任、㊧副主任)

一ヶ月目 ㊦山野弘実  
(大教会役員)

上下分教会長

㊧余村元

(多古浦分教会長)

二ヶ月目 ㊦山田敏教

(大教会准役員)

甲井分教会前会長

㊧藤本芳久

(東水島分教会長)

三ヶ月目 ㊦佐藤真孝

(大教会准役員)

芳井分教会長

㊧三嶋正教

(笠尋分教会長)

**\*修了者**

照陽 劍持秀子

照陽 岡持陽子

福芦 波多桜

## ◎本部食堂ひのきしん

自 立教184年1月5日

至 立教184年1月8日

久松中村剛

自 立教184年1月9日

至 立教184年1月11日

品治渡邊泰造

自 立教184年1月12日

至 立教184年1月15日

葦沼三島順教

## ◎立教184年春季大祭参拝

(空欄はコロナ禍のため)

福山 大教会長様

高屋 大教会長様

神邊 上原明勇

島根 上原繁道

久松 大教会長様

鶴山 上原志郎

弥高山 上原道

陽備 上原繁道

摩耶 上原道

金浦 中村剛

興明 佐藤道孝

ひろさと 上原道

陶山 田中隆美

芳井 武内正美

呉照

海松ヶ岡 上原明勇

東悠 大教会長様

吸江 大教会長様

照陽 大教会長様

輝美濃 上原繁道

新山邑 上原繁道

皆部 上原繁道

明石市 上原明勇

上中市 大教会長様

府中市 大教会長様

東部 中村剛

服部 中村剛

島中 大教会長様

驛家 大教会長様

油木 大教会長様

葦陽 上原明勇

湯田 上原明勇

備中 上原明勇

神昭 上原明勇

美郷 佐藤道孝

錦備 佐藤道孝



昨年末、我が家で使用していた風呂釜と煙突が、経年劣化のため使えなくなった。突然の事だったので、3日程お風呂に入る事ができなかった。

我が家のお風呂は、井戸水を薪で沸かすもので、直接的に神様の『火・水・風』の恵みを感じる事ができる。如何に世の中が進歩し、エネルギーや住環境のスタイルが変わろうとも、全ては『火・水・風』の御守護が無ければ、成り立たない。そもそも私たちの体内も、この御守護がなければ、動かす事はできない。私たちは、地球という『火・水・風』のバランスが絶妙な場所に、生きていくのではなく、生かされている。年が明け、新型コロナウイルスの感染が拡大し、先行きが見えない状況にある。ただ、どんな世相にあっても、親神様の御守護は絶え間なく、全世界に降り注いでいる。まずは、その日々の御守護に感謝する事が、今、改めて必要だと感じている。笠岡大教会にとって節目の今年、神様への感謝の心をいつも以上に込めて、自分にできる、自分にしかできない事を実践していきたいと思う。

(う)